

Day

2

タイトル

2. SDGsのためのデータ収集
(4) エジプトにおけるSDG指標11.6.1のためのデータ収集活動報告

発表者

エジプト国環境省 廃棄物管理規制庁 最高責任者 Nahed Youssef Abdou Elsayed

本発表は、WasteAware指標を用いたSDGデータ収集におけるエジプトのWMRA(廃棄物管理監督官庁)の経験を共有するもので、以下のとおり説明が行われた。

当局は廃棄物分野で働くすべての関係者の役割と責任を定義することによって、同分野の適正化を図っている。WMRAは、計画(マスタープラン開発)、監督、ライセンス供与、技術支援、研究、モニタリングおよび評価といった廃棄物管理に関連する23の分野をカバーする。

県レベルの廃棄物管理のモニタリング能力を勘案しつつ、UN-Habitatが開発したWasteAware指標に対する主要業績評価指標(KPI)ベンチマークを設定した。さらに、県レベルでの指標の使用を容易にするために、GIZの支援を受けてアラビア語のソフトウェアが開発された。次のステップに関して、1)データを継続的に収集して指標を報告するシステムの必要性、2)県レベルの進捗状況の監視がマスタープランの仕組み/ベースラインを使用して行うことができること、3)改善と進展のために指標を使用するためのインセンティブの付与が必要である(例えば、国家補助金とのリンク)ことが述べられた。

要約

最後に、発表者は次のように言及した。SDG指標11.6.1の方法論は十分に確立されているが、途上国の状況を考慮する必要がある。「適切な排出」の定義は、開発途上国で管理されているダンプサイトの存在を考慮する必要がある。これは、完全に衛生的な埋立地としては適格ではないとしても、オープンダンプサイトからの段階的な改善だからである。また「排出」という言葉をより明確に定義する必要がある。廃棄物部門でより一般的な用語である「処理と処分」を使用する方がよいだろう。インフォーマル・セクターのリサイクル率をどのように捕捉するかという問題は、正確な数値の報告を非常に困難にしている。

発表者は、WMRAと環境省との関係に関する参加者からの質問に対し、WMRAは環境省の一部であると述べた。また、現地レベルでのWMRA主導のマスタープランの実施にかかる問題に関しては、現時点ではWMRAは地方政府と緊密に協力しているが、策定中の新しい法律は責任の分担をさらに明確にすると述べた。